

國民學校體鍊科教授要項實施細目

(二)

古澤靜子

(二) 教練實施細目

科 各	等 手	初 徒	別類	課 目	號 令	方 法
				一、不動の姿勢		
四、速步行進	向	三、停止	「氣を著け」	脚を揣へて踵を著け、臂を伸ばし手を股に著け、臂をとして真直に立ち口を閉じ前方を視る		
(二)後	右	二、休め	「休め」	片足を出して休む、許可なく話をせぬ		
「廻はれ」	右	一、間に於け	「右(左)向」	(二)右(左)向、半右(左)向。		
「前へ進め」	右	右(左)	「右(左)向」	左踵にて向を換へる		
一、左脚より股を高めに舉げ臂を振りて歩く	右	右(左)	「右(左)向」	(二)後向		
二、自然に歩く「歩調止め」の行進	右	右(左)	「右(左)向」	右足を僅かに左踵より離し、足尖を左踵にて後に廻はり右踵を左踵に引き著く		
三、歩長、速度は適宜とする						

隊 部	手 徒	年 級	學 期	第 個 教 停 止 「分隊止れ」	停 止 「分隊止れ」	
					五、駐步行進 〔カケアシ 駐歩進め〕	五、駐步行進 〔カケアシ 駐歩進め〕
一、隊 縱隊形	一、隊 縱隊形	六、駐步行進 〔ハヤアシ 速歩進め〕	第一 教 停 止 「分隊止れ」			
二、散集合・解 〔ワカ れ〕	二、散集合・解 〔集 れ〕	速歩より 速歩より 速歩進め	第二 教 停 止 「分隊止れ」			
一、一列縱隊。隊員間の距離は臂を前に與さる程度とする	一、一列縱隊。隊員間の距離は臂を前に與さる程度とする	二步前に踏出し次の足を引き著けて止る	二步前に踏出し次の足を引き著けて止る			
二、二列縱隊。距離は一列縱隊に同じ	二、二列縱隊。距離は一列縱隊に同じ	振り腰の高さの豫令にて手を振り自然に駆ける	振り腰の高さの豫令にて手を振り自然に駆ける			
三、集合。先頭は示された所に位置し他の者は其の後位に並ぶ解散。號令により解散	三、集合。先頭は示された所に位置し他の者は其の後位に並ぶ解散。號令により解散	動令にて約二歩行進したる後次の足を一步前に踏み出し兩手を下す	動令にて約二歩行進したる後次の足を一步前に踏み出し兩手を下す			

務勤中陣	式 禮	練 教	集 集	密 頓	三、整 頓	「前へ進へ」
行	一、 禮一拜最禮 般 敬 敬禮禮	五、 變方 換向	停 止	四、 行 進	密 直 前へ進め 「駆歩進め」 「前へ進め」 「駆歩進め」 「前へ進め」 「駆歩進め」	一、一列縱隊。臂を擧げ前 に重なる 二、二列縱隊。距離をとり 前に重り二人が良く並ぶ 「直れ」の號令にて臂を下す
運					二、一列縱隊行進。前に重 り歩を捕へて歩く 二、二列縱隊行進。前に重 り歩を捕へて歩く 停止して整頓す	二、二列縱隊。 前に重り二人が良く並ぶ 「直れ」の號令にて臂を下す

〔左〕
〔右〕
〔止れ〕
〔分(小)隊〕
〔駆歩進め〕
〔前へ進め〕
〔左(タクミ)右(カゲル)止れ(タマリ)進め(アガメ)〕
〔一列縱隊〕
〔先頭は示されたる方に方向
を換へて進み後の者は之に向
續く〕
基準要領に據る

(二)衛生實施細目
一、身體の清潔

三〇

年學一第一科等初	課目	年學一第一科等初	課目
摩擦 薄着	目的	潔の口 清腔	目的
皮膚着に慣れしめ 皮膚を鍛錬により	一、皮膚の鍛錬	口腔を清潔にする の習慣を養ふ	身體を清潔にする の習慣を養ふ
外服裝を點検し、なるべく薄着にて 外氣及日光に當つ 手を重ね両手を動かして摩擦す	方 法	一、歯の清潔 二、の水等にて口を洗ふ	一、手の清潔。手を洗ひ手拭等にて拭ふ 二、拭ふの清潔。顔を洗ひ手拭等にて拭ふ 三、體の清潔。體を手拭等にて拭ふ